

ミニレター
あぜみち通信

* * * * *

平成19年5月1日
77号

編集・発行：愛知県農業会議

全国情報会議へ5人の農業委員会会長が参加

全国農業会議所と全国農業新聞及び全国農業図書の主催による、「平成19年度全国情報会議」が、4月10日東京椿山荘で開催され、本県からは、5人の農業委員会会長さんを始め25名が参加しました。

農業委員会だより」の全国コンクールでは、東海市農業委員会の「農業委員会だより みのり」が全国農業新聞賞を受けました。

情報活動表彰では、「農業委員の部」で西尾俊治氏（小牧市）、萩野忠克氏（日進市）、鈴木良弘氏（美和町）が、「職員の部」で小牧市、稲沢市、豊明市、日進市、美和町、東海市、大府市、知多市、南知多町、碧南市、刈谷市、安城市、知立市、幡豆町の担当職員さんが、情報活動功労者として表彰を受けられました。

また、江南市、美浜町、碧南市、西尾市、豊田市、田原市の農業委員会が表彰を受けられ、碧南市農業委員会の禰宜田育男会長が代表して、太田豊秋全国農業会議所会長から賞状・賞品を受けられました。

さらに、普及拡大特別優秀農業委員会として、増加部数で全国10傑に入った江南市農業委員会が表彰を受けられました。

農業委員会活動を展開する上で、情報の共有が必要であり、「組織事業・運動と一体となった『絆づくり運動』の推進」など、全国農業新聞の普及拡大などについて協議されました。

受賞された農業委員会及び担当者の皆さんに心からお祝い申し上げますとともに、引き続き全国農業新聞・図書の普及拡大にご協力を賜りますようお願いいたします。

「平成19年度全国農業委員会会長大会」が開催されます

平成19年度全国農業委員会会長大会は、5月31日に東京・日比谷公会堂で開催され、提案・要請決議として、「活力ある農業・農村の再生に向けた政策提案」、「WTO農業交渉並びにEPA交渉に関する要請」、「農地政策の再構築に向けた政策提案」が、申し合わせ決議として、「現場に軸足を置いた『行動する農業委員会』の実践」、「情報活動（全国農業新聞・全国農業図書）の一層の強化」が取り上げられる予定です。

この内、「農地政策の再構築に向けた政策提案」については、県内での意見集約を4月中に行いました。さらにご意見を伺い、5月11日の都道府県農業会議事務局長会議で討議をして、大会当日提案されることとなっています。

活発なご意見を頂くとともに、多数のご出席をお願いします。

常任会議員会議（４月）の審議状況

４月１７日開催された常任会議員会議では、退任された木戸正暉委員に代わって成田徳敬愛知県畜産協会常務理事兼事務局長が４月１３日付けで就任され、自己紹介と挨拶がありました。

また、愛知県及び名古屋市の人事異動などに伴う担当課長さんの挨拶の後、関係職員を紹介がありました。

知事諮問案件としては、農地法第４条に基づく転用事案 3750件 14,779平方メートル、第５条に基づく転用事案 384件 296,431平方メートルが審議され、いずれも許可して差し支えない旨答申することが議決されました。

会議終了後、農地制度改革に向けた検討状況などについて、事務局から情報提供を行いました。

農業委員会職員新任者研修を開催

愛知県農業委員会事務職員研究会（会長：古川正美稲沢市農業委員会事務局長）と農業会議では、４月１８日桜花会館において、農業委員会職員新任者研修を実施しました。

研修会には、市町村農業委員会事務局及び県農林水産事務所農政課の農業委員会事務担当の新任者等 72名が出席し、県農林水産部農業振興課の田邊紳一郎主任主査始め農業会議の職員が講師となつて、農業委員会制度と諸事業の推進、農地制度と農業委員会の任務、農業者年金制度と関係事務等について、その概要とポイントについてやさしく講義が行われました。

農地制度については、７月上旬に県農業振興課主催による研修会が実施される予定です。

稲作経営者会議有志が公庫資金について研修会

稲作経営者会議は、４月１３日農林漁業金融公庫との懇談会を開催し、新しいスーパーＬ資金についての研修を行いました。

東海支店からは小泉伸一支店長さん始め 3名が出席され、支店長さんのあいさつ、担当者からの制度説明に引き続き、新潟支店にも勤務された鈴木裕介新任の業務二課長さんから、北陸の稲作などについても情報提供を頂きました。

田畑売買価格等に関する調査結果まとまる

農業会議では、平成18年度の田畑売買価格等に関する調査結果をとりまとめました。

市街化調整区域内の農用地区域内で見ると、中田では、調査対象地点（241地点）の約半数で「横ばい」、約半数弱で「下落」、「上昇」は3カ所だけで、平均は10ア当たり1,213万円と前年に対し 0.98 ㌔の下落でした。

中畑でも同じ傾向で、平均では1,209万円と 1.87 ㌔下落しました。

これは、依然として「農地の買い手がない」、「全体として生産意欲が減退している」、「兼業化の進行など」によるもので、1995年に比べると、田では 44.6 ㌔、畑では 42.5 ㌔の下落です。

バイオマス燃料の振興に向けた説明会

東海農政局は、4月19日ウィル愛知で、県・市町村及びJAなどの担当者を対象に、「バイオマス燃料の振興に向けた説明会」を開催しました。

説明会では、バイオ燃料に取り組むことの意義及びバイオ燃料地域利用モデル実証事業の概要について、農林水産省の吉田岳志審議官等から説明が行われました。

バイオ燃料への取組みは、農業経営の規模拡大や耕作放棄地対策にも役立つことから、品目横断的経営安定対策、米政策改革、農地・水・環境保全向上対策の担当者も同席して、会場からの質問に答えた。

バイオ燃料の原料となる植物の栽培が、耕作放棄地の解消や多面的機能の発揮、さらには、地球温暖化の防止にも役立つとして、農林水産省では試験研究に取り組むとともに、各地での取組みに対して積極的に支援していくこととしています。

17年も愛知県の農業生産は全国第5位

愛知県は、「農業の動き2007」を公表しました。

平成17年の農業産出額は、前年に比べて、米、野菜、果実、乳用牛が減少したものの、花き、肉用牛、豚、鶏で増加し、全体では9億円増の3,275億円となり、前年と同じく全国第5位の産出額となっております。

産出額を品目別にみると、花きが昭和37年以来連続して全国第1位（全国シェア18.0%）、鶏卵が第3位、野菜が第4位、乳用牛が第7位などとなり、園芸及び畜産部門で全国の上位にあり、産出額が全国第1位の品目は11品目あります。

また、18年の農業法人数は、畜産や水稲部門などで増加し494法人となって17年に比べて19法人増加し、18年3月末の認定農業者は3,247経営体と、前年より224経営体増加しました。

「農業の動き2007」は、<http://www.pref.aichi.jp/nourin/seisaku/ugoki/nogyo2007.pdf>

日経新聞の記事に対し農林水産省が所見

3月22日付の日本経済新聞で、「農地集約に公的資金」、「利用権『再生機構』が売買」、「企業の参入後押し」などの見出しで、新たな農地の面的集積組織の創設検討され、平成20年度予算の概算要求に盛り込むとの、報道がなされた件に関して、農林水産省は4月13日、「3月22日の日本経済新聞報道（農地政策関連）に関する所見」を公表しました。

これによると、現在、農地政策の再構築に向けて検証・検討進めているところで、「農地政策に関する有識者会議」が設けられて、第1回（1月30日）に引き続き第2回が3月9日に開催され、「農地の面的集積に係る論点と方向」として、農地の面的集積についての共通認識をまとめたのは事実であるが、有識者会議で議論されていない内容等が報道されており、多くの事実誤認が含まれているとして、所見を公表して、正しい認識を持たれるよう要望しています。

詳しくは、農林水産省のホームページをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/soshiki/keiei/nouchi_seisaku/h190322hodho.pdf

なお、3月9日開催の「農地政策に関する有識者会議」で示された「農地の面的集積に係る論点と方向」は別紙のとおりです。

http://www.maff.go.jp/www/council/council_cont/keiei/nouchi_yushikisha/02/middle.pdf

「21世紀新農政 2007」が決定・公表

4月4日、食料・農業・農村政策推進本部（本部長：総理）において、「21世紀新農政 2007」が決定され、農林水産省から公表されました。

これは、近年の国際的な食料事情の変化への対応や、温暖化防止など地球規模での環境問題への対応といった新たな重要な解決に向け、重点的に取り組む課題について、とりまとめたものです。

我が国の農業が真に21世紀にふさわしい戦略産業となるよう、関係府省が一体となって「21世紀新農政 2007」を推進していくとしています。

この「21世紀新農政2007」の詳細については、農林水産省のホームページをご覧ください。http://www.maff.go.jp/shin_nousei/index.html

都道府県農業会議事務局長会議

4月12・13の両日、東京都台東区において、都道府県農業会議事務局長会議が開催されました。

全国農業会議所では、10年近く努められた中村裕専務理事が相談役に引かれ、松本広太事務局長が専務理事に就任するなどの、19年度新体制の紹介がなされた後、全国農業委員会会長大会（5月31日開催）の議案（素案）について説明がありました。

これについては、愛知県でも各農業委員会にも組織討議を依頼中で、5月11日の事務局長会議で修正して大会に提出することとなっています。

提案・要請決議としては、「農業・農村の再生、WTO・EPA交渉、農地政策の再構築」が、申し合わせ決議としては、「行動する農業委員会」の実践、情報活動(新聞・図書)の強化」が項目となっています。

この他、平成19年度事業対応や平成19年度予算への取り組み状況についての説明と分団討議がありました。

分団討議では、担い手・経営対策、農政対策、農地対策、組織・財政の在り方、について3班に分かれて情報交換・討議を行いました。

「全国農業図書」の普及拡大へのご協力ありがとうございました

農業委員会業務推進の参考図書である全国農業図書の平成18年度の取り扱いは、944万円で、前年対比67.5%でした。

今後も、全国農業図書の普及拡大にご協力下さい。

4月に刊行した図書は、以下のとおり(いずれも税込)です。ぜひご利用下さい。

集落営農の会計と税務【18-60】 A5版・87頁 定価 1,000円

農地基本台帳・索引簿

A表・世帯主、営農、土地総括表【19-01A】 A4版 定価 20円

B表・経営農地等の筆別表 【19-01B】 A4版 定価 20円

C表・貸付等の筆別表及び索引簿【19-01C】 A4版 定価 20円

D表・農地基本台帳検索簿 【19-01D】 A4版 定価 20円

平成19年度 農家のためのなんでもわかる農業の税制

【19-02】 A4版・123頁 定価 700円

プロに学ぶ農産物販売のワザと極意【19-03】 B5版・63頁 定価 1,000円

元常任会議員、稲垣 翠 氏など春の叙勲に輝く

本会の元常任会議員の稲垣翠氏におかれましては、春の叙勲で旭日双光章を受章の栄に浴されました。また、元知多市農業委員会会長の鈴木仲右工門氏におかれましては旭日単光章を受章されました。

両氏のこれまでの農業振興と地域の発展に尽瘁されたご功績に、改めて敬意を表するとともに、心からお祝いを申し上げます。

今後、ますますのご健勝とご活躍をお祈りします。

農地情報利用効率化対策事業新任者研修会を開催

農地情報の一元管理と効率的利用のため、「農地基本台帳」及び「農地地図情報」の電子化等の推進が必要となっていますが、農業会議では、県内2カ所で研修会を開催します。

研修会では、農地基本台帳システムの操作実習、農地地図情報システムの導入と活用等について、実際の機器を使つての説明と体験を中心とした研修を受けて頂きます。

受講料は無料です。未導入の市町村の方の受講を歓迎します。

〔両備システムズ〕 : 5月 9日10:00~17:00

名古屋市中区一丁目9-16 トーテックアメニティ(株)

〔全国会議所ソリマチ〕 : 5月11日 9:00~17:00

岡崎市美合町並松1の2 愛知県立農業大学校

食育推進大会が開催されます

愛知県食育推進会議、愛知県及び愛知県教育委員会は、「あいち食育いきいきプラン~愛知県食育推進計画~」を推進するため、「みんなで進めよう あいちの食育県民大会」を開催します。

大会では、食育標語優秀作品の表彰や事例発表の他、女優でエッセイストの星野知子さんの講演(演題:「スローフード・スローライフで食を楽しみましょう」)などが行われます。

1 日時 : 平成19年6月7日(木) 午後1時から午後4時まで(開場正午)

2 場所 : 愛知県芸術劇場大ホール(愛知芸術文化センター内)

(名古屋市東区東桜一丁目13番2号)

入場は無料で、現在、参加者の募集が行われています。

詳しくは、愛知県農林水産部食育推進課 電話 052 954 - 6396(ダイヤルイン)へお尋ね下さい。

関連ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/0000000610.html>

愛知県担い手育成総合支援協議会の体制強化

愛知県担い手育成総合支援協議会では、19年度から企画指導員を拡充して、地域担い手育成総合支援協議会との連携強化を図ることとしました。

専任の企画指導員として高橋忠彦が、昨年度までの専任企画指導員の澤田誠が愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会との兼務で、本多良樹が年金・就農相談員との兼務で企画指導員を務めます。

愛花協だより（知事お祝いメッセージ、会長色紙贈呈）

名古屋市 森 淳一さん・明子さん（4月15日挙式）

豊橋市 神藤公幸さん・沙耶花さん（4月15日挙式）

ご結婚おめでとうございます。一層のご活躍とご多幸を祈ります。

愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会事務局は、19年度からは澤田誠が事務局を担当することになりました。よろしくお祈りします。

今後の主な行事予定

- 5月 9日（水）平成19年度上半期出版・新聞合同会議（鳥羽市）
- 5月 9日（水）農地情報新任者研修会（中区） 11日（農業大学校）
- 5月 9日（水）都道府県担い手協議会担当国会議（東京都）
- 5月10日（木）都道府県農業会議事務局長新任者研修会（東京都）
- 5月11日（金）都道府県農業会議事務局長会議（東京都）
- 5月11日（金）海部地区農業委員会協議会総会（海部事務所）
- 5月11日（金）東海3県担い手支援協議会担当国会議（名古屋市中区）
- 5月15日（火）愛知県経営構造対策推進協議会・コダクア-会議（白壁庁舎）
- 5月16日（水）愛知県担い手育成総合支援協議会幹事会（白壁庁舎）
- 5月17日（木）常任議員会議（白壁庁舎）
- 5月17日（木）農業者年金連絡協議会総会（東京都）
- 5月17日（木）都市農政対策連絡協議会総会（東京都）
- 5月22日（火）愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会幹事会・総会（白壁庁舎）
- 5月23日（水）愛知県市部農業委員会会長会春季定例総会（岩倉市）
- 5月29日（火）愛知県農村生活アドバイザー協会総会（名古屋市中村区）
- 5月31日（木）全国農業委員会会長大会（東京都）
- 5月31日（木）愛知県選出国會議員への要請活動（東京都）
- 6月 7日（木）常任議員会議・農政（白壁庁舎）
- 6月 7日（木）愛知県開発審査会（愛知県議事堂）

あとがき

愛知県農業会議事務所の近くにある「名古屋市政資料館」の前庭には、「風光る」、「風薫る」と題した2体の等身大のブロンズ像が、万朶の桜を背に伸びやかに立っています。何れも山本眞輔先生の作によるもので、資料館を訪れる人や、通勤の途上桜を愛でつつ通り抜ける人を暖かく迎えています。

「風薫る」は、五月の形容詞。目に染む青葉や頬を撫でる風に初夏を感じる頃となりましたが、お茶の農家は晩霜への警戒や新茶づくりへの準備に、大変な毎日を過ごしておられることと思います。

例年、八十八夜の前後に愛知県茶業連合会では、各産地回り持ちで知事に新茶を贈呈しておられますが、今年も4月27日、今年の愛知県茶業振興大会の開催地である豊田市の甜茶（てんちゃ、抹茶の原料）、かぶせ茶が届けられ、知事も甜茶を石臼で碾いて抹茶にする体験をされました。

愛知県の甜茶生産は京都府に次いで全国第2位。愛知県産の評価を高めるため、稲垣翠氏（元常任議員会議員）始め関係者は懸命の努力を重ねて来られましたが、原産地表示制度の浸透もあって、優秀な愛知茶の評価が年々上がっています。

各産地では世代交代や機械化が進んでいます。新しい「風」のもと、本県の茶業がますます発展することを祈ります。